

日本の竹ファンクラブ通信



竹林の持続可能な保全と価値向上！

国産メンマが日本の竹林を救う？

食糧自給と竹林整備の二兎を追うプロジェクトが全国に広がっている。竹に経済価値が付けば竹林に再び人の手が入り、整備が進み、放置竹林も解消される。国産メンマはそんな竹問題解決の救世主となるか？

国産メンマに期待する

近頃、国産メンマの需要が増えているそうです。「クラフトメンマ」のプロジェクトも発足、すでに全国35都府県121の個人、団体が参加しているという。原料は2mぐらいに伸びたモウソウチクやハチク、マダケの筍で、現在は殆ど利用されず捨てられているものです。これがメンマに加工することで1本の筍から何倍もの経済価値が創出できるという。ごはんや酒の肴に、あるいはラーメンの具として更なる需要も期待できるという。

放置竹林の拡大要因

放置竹林の拡大要因
一方、少子高齢化は益々進み、加えて持ち出しだけ

最盛期、国産筍の生産量は16万トン（95年）あった。それが今では輸入筍に取って代わられ国産筍はわずか2万トン（21年）にまで落ち込み、一部の産地を除き壊滅状態にある。これが放置竹林拡大の元凶の一つである。竹ファンクラブではこれまで『たけのこ掘大会』や『筍料理教室』、『たけのこするめ』など国産筍の消費拡大に向けた活動を行ってきた。しかし未だ解決への道のりは遠いのが実情です。

持続可能な保全活動に向け

のボランテニア活動にも限界が見えてきました。モチベーションの低下、活動資金の先細り等課題も山積んでいます。こうした中、広がってきた「クラフトメンマ」。竹ファンもこの土俵に上がり、竹林保全の新しい景観づくりに参加したいと思えます。昨年より中井を中心に筍増産プロジェクトが始動しています。来年からの筍掘りイベントの再開と併せ、二毛作で、筍の付加価値向上に努め、竹林の持続的な保全と価値向上に取り組みたいと思えます。

理事長 平石 眞司

小机城址支部

9月1日に有志が間伐対象の竹198本にマーキングテープ巻き付け、9月から10月にかけて5日間で伐採を終え、竹灯籠作り、設置と準備作業は1日の雨以外は天候に恵まれ順調に進みました。

11月29日に開催される事になった「チャンバラ合戦」との丸広場の使用について「小机城のあるまちを愛する会」の会長さんと日吉台中学校作成のオブジェの設置場所を調整しました。その後は予定通り設置作業は終了し、11月4日の第20回小机城址市民の森竹灯籠まつりは成功裡に開催することができました。まつり後の片付け作業ではSさん提案の竹でソリを作り、更にソリの下に台車を入れ、集積運搬作業の効率化を図り、割り作業に入り、年明け1月中に終わる予定です。

担当 荻原 三男

横浜国際プール支部

地球の温暖化をたっぷりと感じた夏休み明けの9月中旬、サブプールから涼しげに水しぶき音とコーチの小気味よいリズムの声がありました。竹取協力隊もそれに乗ってと行きたいところですが、竹林は汗をかきつつ小休止の連続です。刈払機であずまや屋奥の下草刈り、チェンソーで法面足場用の材料を確保。10月は15年以上前、一度法面に設けた2く3段の足場の復活作業。港北ニュータウンの人口増で子供たちの格好の遊び道具となって園路に置かれたりして支



障が出る状態となった。そこで安全上撤去して今日まで竹林整備や竹灯籠の設置が困難な状態がつづいた。時代がすすみ子供達の遊びにも変化も見られ元に戻しました。深秋11月25日、チェンソー使用で間伐が進みました。稗の下部は前回の足場をさらに延長し、上部は今後の四ツ目垣改修材に利活用します。新しい年は辰年、活力旺盛になる年ですが皆さんお元気で楽しく活動していきましょう。

担当：根岸秀行

こどもの国支部

今秋は総合グラウンドに面しているマダケの整備。順調に生育



している竹林は太い古竹や細竹に曲がった竹などなど、あたかも間伐の順番待ちしている模様。それらを切り運び出しチップ処理用に枝を落とし3メートルに切断集積します。日当たりの良い法面には蔭が繁茂し細竹に絡みつき伐採除去するのに超難儀、達成感のご褒美には小つちやなヌスピトハギのシールを沢山もらいました。こうしたこどもの国の活動に自動車で来園参加される方、11月より駐車場所が変わりました。正面駐車場から集合場所の通用門の中になり作業現場に近くなりました。

担当：丹治 薫

中井町支部

中井町の秋のイベント「竹林整備とみかん狩り」を11月23日(祝木)に行いました。今回は小規模に一般の方4名、会員13名が参加しました。午前中は間伐で汗を流し、お昼は

恒例のBBQを楽しみ、その後は毎年お世話になっている武井農園さんのミカン畑でミカン狩り・野菜畑で聖護院大根や葱、白菜、里芋などの収穫体験を行いました。参加された子供達も満足そうな笑顔で一杯でした。これからは本格的な間伐作業に取り組みます。なお、間伐した竹はこれまで貯め込んでいたCO2が一举に排出されない方法で処理していきます。中井の真竹林が皆様をお待ちしています。

担当：榮 千彰



竹の学校

竹林管理コース

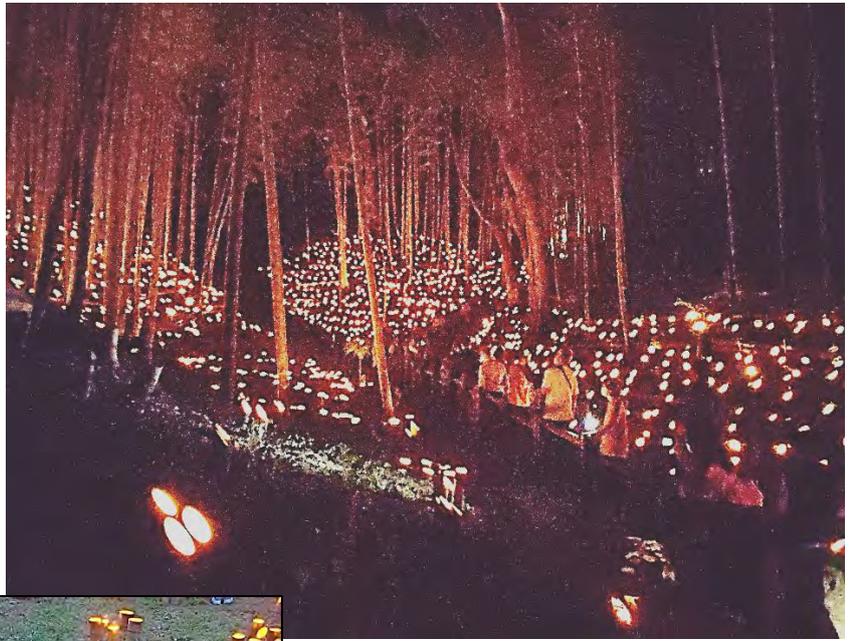


竹穂垣の改修様子

第4回からの管理コースは、小机城址市民の森での現地での実習講座となりました。9月24日、竹林の調査・竹林間伐の方法。10月22日、竹林間伐、竹灯籠設置(祭りの見所の一つの天の川の灯籠設置)11月26日、竹林調査と間伐、竹垣(竹穂垣)の改修12月16日、竹林の間伐と冬の施肥

報告：事務局

第20回小机城址市民の森 竹灯籠まつり



メイン会場からH地区

第20回目となった小机城址市民の森の竹灯籠まつりは、9月から間伐、竹灯籠の製作、設置、11月4日のまつり当日の水入れ、ロウソクへの着火等々、竹ファンクラブ会員・桐蔭横浜大学やNUSAの学生さんや町内会・市民の皆さんのご協力により開催され、約2000名の入場者のお客さんに楽しんでいただけたました。

報告：事務局

横浜国際プールの竹灯籠まつりが5月開催となります。4頁の予定表が変更となっていますのでご確認ください。



天の川



竹の学校 筍料理教室 秋レッスン

11月19日(日)中川西

地区センターで「たけのこ料理教室」荒木典子講師のもと、定員一杯の盛況、私も今回で四回目の参加でした。

料理メニューは「筍を刻んで味付け、詰め込んだ餃子」「筍を混ぜた地産地消の野菜餡掛け焼きそば」「筍の中華スープ」「新鮮な横浜野菜のサラダ」と盛り沢山。何やら横浜の農家から直接ルートで仕入れて居るとの説明がなされた。さて料理となると私も何やら得たいの知れぬ物を食べているから勝手が違う。先ず素材が集められない。調味料が揃わない。驚いたのはキクラゲで、水で戻しているとは言え

大きいのはびっくり、包丁を使わず手で干切るのだ。私も地域のケアプラザでお年寄りを相手に（私も十分お仲間域だが）食事会の



お手伝いをしているが餃子を包んだのは初めて、皮を破らないように包み込むのに神経を集中したのだが？。出来上がりを見て皆で試食。中々の出来映えで、ごちそうさまでした。

報告：政所七郎

CSR活動（企業の社会貢献活動） サポート

10月4日（土）株式会社阪急阪神エクスプレスによる環境保全貢献活動が実施されました。コロナ禍後4年ぶりの開催は、老若男女

総勢27名が参加。竹フアンのすばらしいメンバーによる全面バックアップのもと、午前中は、間伐を中心に体験、お昼休憩には、竹筒で炊いた温かいご飯を食べてもらい、午後は引き続き間伐で汗を流す



組と竹かごやしゃもじを作る組に分かれて活動。講師が良かったせいとか？大成功。ケガもなく笑顔で帰路についていただきました。このような活動を継続的にお手伝い出来たら、協働による日本の原風景復活が加速するだろうと感じました。

報告：清木優美子

TAKEFAN NEWS

竹ゲル作り ワークショップ を行います

2024年
1月20日(土)・
2月18日(日)

ホームページの竹工房またはチラシをご覧ください、
お申込み下さい。



【新入会員紹介】敬称略 下線は竹取協力隊
無し

〈活動報告〉

- 10月12日 横浜市市民協働推進センター「市民団体の会計の基礎セミナー」参加
- 10月29日 神奈川県水源環境保全・環境フォーラムにおける活動展「市民事業交流会」出展
- 11月17日 県・森林林業三団体研修会参加
- 11月19日 横浜市環境活動支援センター「安全管理研修」参加
- 12月22日 通信冬号NO.96発行
- 12月24日 理事会開催

【寄付金】

小机城址市民の森竹灯籠まつりご来場市民の皆様・
小机商店街協同組合様・小机城址市民の森愛護会様
荒木典子様・相野谷くみ子様

予定表

※学校管：竹の学校「竹林管理コース」 ※協力隊：竹取協力隊の定例活動 ※援農隊：竹取援農隊の定例活動
※イベント：詳細はチラシ又はホームページをご覧ください。

1月9日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐	10:00~15:00
1月13日(土) 協力隊	中井町 竹林の間伐と冬の施肥	10:00~15:00
1月14日(日) 協力隊	小机城址市民の森 四ツ目垣改修と竹灯籠処理	10:00~15:00
1月14日(日) 協力隊	横浜国際プール(南隣接地) 北山田どんど焼き協力	9:00~13:30
1月21日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林の整備と竹垣改修	10:00~15:00
1月23日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐	10:00~15:00
1月28日(日) 協力隊	小机城址市民の森 竹穂垣改修(四ツ目垣)と 竹灯籠処理	10:00~15:00

2月27日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の整備	10:00~15:00
3月2日(土) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 竹林の間伐 筍の保護柵と保護棒立 竹の活用と修了式	10:00~15:00 10:00~12:00 13:00~15:00
中止 3月3日(日)	横浜国際プール 竹灯籠まつり5月開催変更 に伴う中止	
3月10日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐	10:00~15:00
3月12日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐	10:00~15:00
3月17日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐	10:00~15:00
中止 3月23日(土)	横浜国際プール 竹灯籠まつり5月開催変更 に伴う中止	
3月24日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐	10:00~15:00
3月26日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の整備	10:00~15:00
3月28日(木) 協力隊	中井町 竹林の整備	10:00~15:00
中止 3月30日(土)	横浜国際プール 竹灯籠まつり5月開催変更 に伴う中止	
3月31日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠づくり	10:00~15:00

竹に関する情報は下記宛にご連絡をお願いいたします。

E-MAIL:office141@takefan.jp URL:http://takefan.jp TEL&FAX 045-306-9993